

本学が遂行するプロジェクト一覧

	No.	プロジェクト	道教委との連携	事業の成果目標	担当事務
教員養成改革推進本部	1	附属学校・拠点校を基盤とした課題解決型授業の実施	○	○附属学校・拠点校とを結ぶ双方向遠隔授業システムを活用した課題解決型授業を開発し、実施する。	教務課・附属学校室
	2	教科横断型の教育研究組織への再編成と教育課程編成		○再編された教員養成課程の履修基準について、プロジェクトが示した「北海道教育大学教員養成課程にかかる教育課程編成の基本方針」との整合性を検証するとともに、教育課程再編時の課題を整理しその解決策を講ずる。事業の目標と成果は、平成28年度以降の教育課程編成に反映されることである。また、前年度に引き続き、教科やキャンパスの枠を越えた「教科横断型の授業科目」を開発し実践することも目標および成果とする。	教務課
	3	ステークホルダーの声を取り入れた教育課程改革	○	○学長直轄の外部委員会（北海道教育委員会、報道機関、経済界、農林漁業関係、研究者等で構成）を設置し、授業評価及び教育課程評価を実施するとともに、評価の検証結果を教育課程改革に反映する。また、学生による組織的な授業評価及び教育課程評価も改革に活用する。	企画課・教務課
	4	「教育実習前知識・技能テスト（仮称）」の導入		○教員養成大学において最も重要な教育実習に臨む時期に、学生の学びの一定レベルを確保するために実施する標準評価試験：教育実習前知識・技能テスト（仮称）を開発する。具体的には、教育実習前までに身につけておくべき知識・技能を整理し、学生（3年生）に確認させながら、確実にそれらを身につけてもらうために、合格を前提とする複数回受験可能な学習CBTを開発する。また、並行して同時期の3年生の教育実習に関わる学びの実態をIR活動として把握し、教育実習事前指導などにおける指導内容・方法・時期などについて担当組織・機関に提言し、学生・指導教員へ指導のための資料を提供することも行う。	教務課
	5	（教職大学院）教育委員会との連携・協働による実践力のある新人教員・スクールリーダーの養成	○	○修士課程及び教職大学院の一体改革を行う。 （教科教育・特別支援教育を含めた教職大学院の改組（函館校教職大学院の設置）、函館校・岩見沢校の学科に対応した新専攻設置）	企画課・教務課
	6	（修士課程）学校現場に求められる教科指導力を研究する体制への変換			企画課・教務課
	7	附属学校における小中一貫教育推進事業		○小中一貫教育をめざして教育課程の検討して新たな教育課程を作成するとともに、児童・生徒間の交流プログラム、小中教員の授業相互参観などを実施する。	附属学校室
	8	現職教員研修のプログラム開発への参加等による教員養成への寄与	○	（道教委における現職研修prg開発が行われた後、取組を実施。）	教務課
	9	教員の多様性と質の確保		○優秀な若手、外国人の確保と本学独自のテニユアトラック制の導入	人事課
	10	教科専門を担う教員の教員養成担当としての専門性向上（新教員研修）	○	○教員養成を担う教員の専門性向上のため、附属学校等を活用したFDプログラムを開発する。	人事課
	11	一定期間ごとの新たな教員評価制度の導入と処遇への反映		○教育研究力の向上・改善を図るため、教職としての専門性向上への寄与を重視した新たな教員評価制度を一定期間ごとに実施し、処遇に反映させるための開発に取り組む。	人事課
	12	グローバル教員養成プログラムの実施		○社会のグローバル化について深く理解し、それに対応した教育活動の先導的役割を担うことが出来る教員を養成する。	国際課・教務課